

第81回 日本公衆衛生学会総会シンポジウム

令和4年10月8日 9:30～10:20

行政機関の医師が持つべき専門性 ・ スペシャルティの育成方法の模索

大阪府健康医療部 宮園将哉

北海道渡島総合振興局 (渡島保健所兼
八雲保健所) 山本長史

本発表について開示すべきCOI関係にある企業などはありません

第80回日本公衆衛生学会総会シンポジウム（昨年度）

「行政医師が持つべき専門性・スペシャリティを考える」

○保健所をめぐる環境の変化

- ・ 各種の保健サービスが市町村へ移管
- ・ 保健所は様々な新たな課題に取り組む必要性
- ・ 公衆衛生医師の確保と育成は長年かつ喫緊の課題

○近年の様々な取り組み

- ・ 全国保健所長会の事業班による様々な取り組み
- ・ 社会医学系専門医制度の創設
- ・ 行政機関で働く医師が獲得を目指すべき能力には階層性があり優先順位を考えて育成すべきという提案

社会医学系専門医が持つべき能力とは

○コア・コンピテンシー

- ・ 基礎的な臨床能力
- ・ 分析評価能力
- ・ 課題解決能力
- ・ コミュニケーション能力
- ・ パートナーシップの構築能力
- ・ 教育・指導能力
- ・ 研究推進と成果の還元能力
- ・ 倫理的行動能力

(出典：社会医学系専門医協会 専門研修プログラム整備基準)

社会医学系専門医の到達目標

○専門技能

- ・ 社会的疾病管理能力
- ・ 健康危機管理能力
- ・ 医療・保健資源調整能力

○専門知識

- ・ 公衆衛生総論
- ・ 保健医療政策
- ・ 疫学・医学統計学
- ・ 行動科学
- ・ 組織経営・管理
- ・ 健康危機管理
- ・ 環境・産業保健

(出典：社会医学系専門医協会 専門研修プログラム整備基準)

社会医学系専門医の経験目標

○総括的な課題（全項目が必須）

- ・ 組織マネジメント
- ・ プロジェクトマネジメント
- ・ プロセスマネジメント
- ・ 医療・健康情報の管理
- ・ 保健・医療・福祉サービスの評価
- ・ 疫学・統計学的アプローチ

○各論的な課題（全22項目中3項目の経験が必要）

- ・ 保健対策（母子保健ほか 6項目）
- ・ 疾病・障害者対策（感染症対策ほか 4項目）
- ・ 環境衛生管理（生活環境衛生ほか 3項目）
- ・ 健康危機管理（パンデミック対策ほか 5項目）
- ・ 医療・健康関連システム管理
（医療・保健サービスの安全および質の管理ほか 4項目）

（出典：社会医学系専門医協会 専門研修プログラム整備基準）

さらに…公衆衛生・行政医師が持つべき能力とは

○社会医学系専門医が持つべきコア・コンピテンシー

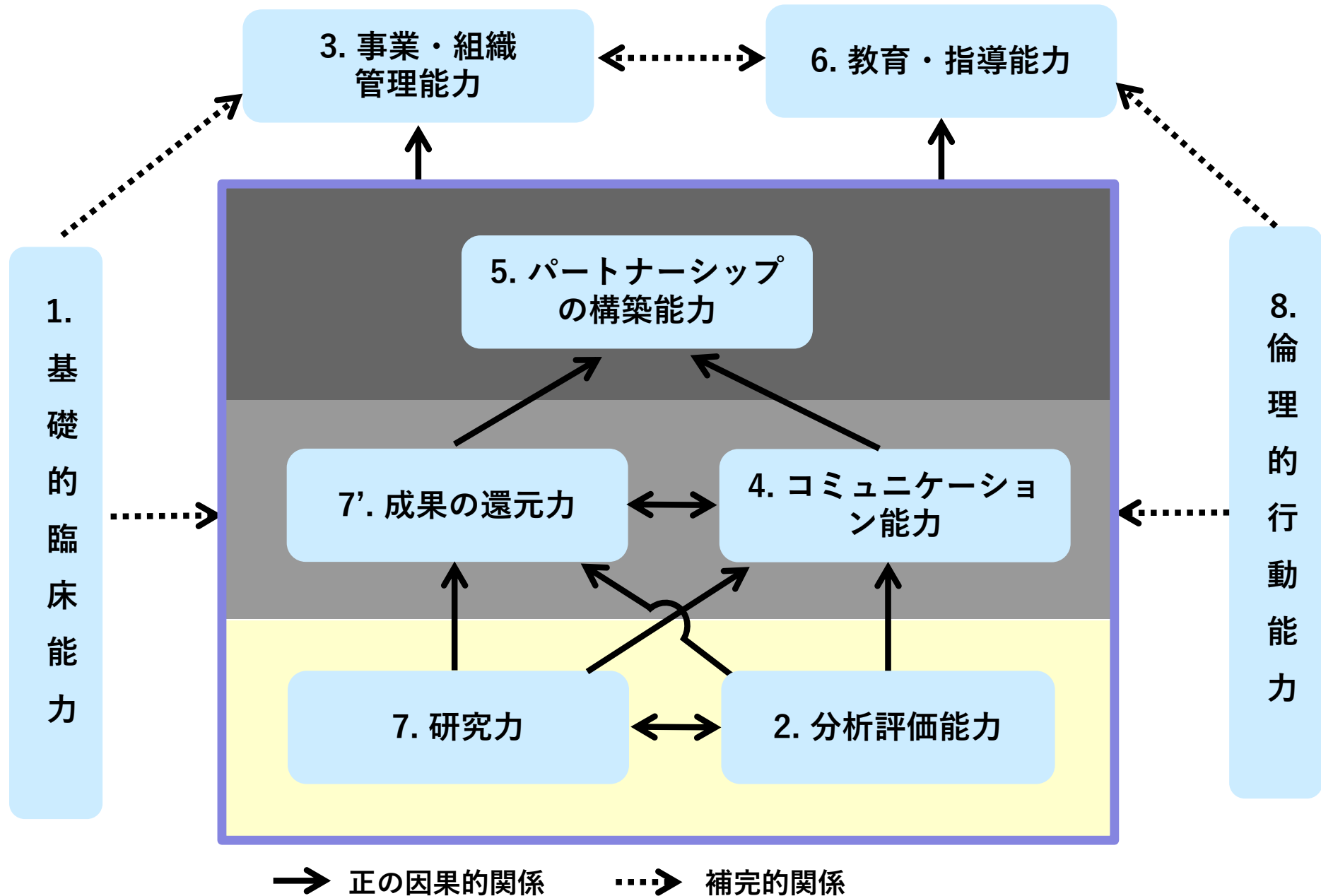
- ・ 基礎的な臨床能力・分析評価能力・課題解決能力
- ・ コミュニケーション能力・パートナーシップ構築能力
- ・ 教育・指導能力・研究推進と成果の還元能力
- ・ 倫理的行動能力

○その他には？

- ・ 社会医学系専門医が持つべき一部の能力に、公務員として求められる能力を補完してはどうか？
- ・ 獲得すべきコンピテンシーに優先順位があるのではないか？

(出典：大阪府行政医師・歯科医師育成ガイドライン)

社会医学系専門医が獲得を目指すコアコンピテンシーの階層性



大阪府での取り組み

○人材育成に関する公衆衛生・行政医師の特徴

- ・一般的な職種では社会人としての十分な育成が済んでいる
年齢に達した人が、医師の場合は新任として入職してくる。
- ・職場の中で「医師」として見られることから、同僚や上司が遠慮がちになり、十分な指導・育成が行われないことがある。



- ## ○公衆衛生・行政医師が持つべき能力について共通認識を持つため、業務の中のどのような場面でどのような能力やコンピテンシーが必要となるかを具体的にイメージできるものが必要なのではないか



- ## ○若手医師が業務の中で遭遇した事案の解決や求められた役割を果たす架空の物語を作成し、それぞれの場面で必要となったコンピテンシーを提示する「モデル事例集」を作成してはどうか

行政医師・歯科医師の人材育成モデル事例集2022 Ver.1

行政医師・歯科医師人材育成の 職業モデル事例集2022

Ver.1

大阪府保健所長会
大阪府保健所医師会

令和4年9月

事例6：大阪府内で震度6強の地震が発生！大混乱の中、保健所における活動をスムーズに行えた

必要となった職業能力

- 分析評価能力：特定の課題において健康ニーズアセスメントを実施することができる。
- 事業・組織管理能力：不確定な要素、予想外の事態、種々の問題に対し注意深く適切に対処することができる。
- パートナーシップの構築能力：複雑な問題に対して、他の関係機関と良好な関係を構築して取り組むことができる。

私は大阪府A保健所（管内A市B市の2市を管轄・人口約25万人）に勤務する地域保健課長2年目のX医師・35歳。2022年6月1日AM8:00通常通り出勤中、電車の中で緊急地震速報が鳴り響き府内で震度6強の地震が発生したことを知らせた。電車は急停車し、車内放送も「状況は追ってお知らせする」の繰り返し。携帯電話で職場へ架電を試みるも発信すらできず。約20分後に、停車中の電車から順次、乗客が降車するよう案内があり、乗務員の指示に従い線路へ下車。それまでも連絡を試みていた課長からLINEが入り、「無事ですが、電車が止まってどうすることもできません。所内の他の幹部にもLINEを送っていますが、皆さん未読のままです。」とメッセージが入った。私は、降ろされた線路から徒歩で保健所へ向かうことを決心し、課長へもその旨、報告しておいた。

降ろされた場所からは保健所まで徒歩40分くらいの道のりと予想。保健所を目指しながら途中にある小学校に人々が大勢集まっている様子や、救急車・消防車がサイレンを鳴らしながら走り回る姿、また、病院の玄関で病院スタッフが拡声器を用いて、受診者等の誘導をしているのを確認し、途中でも所内幹部への連絡を継続した。幹部のグループLINEに次長から連絡が入り、「所長はご自宅がかなりの被災を受けた模様。登校した子どもの引き取りもあり、とてもすぐには出勤できない様子。私は電車で閉じ込められたまま。どこかで下車でき次第、出勤方法を考える。職場に到着、あるいは到着できそうな幹部はいますか？」と。私は、現在徒歩で向かっており、あと20分くらいで到着できそうと返信をした。他の幹部からは「電車内閉じ込めのままである」や「遠距離のため、最寄りの大塚駅に降りて向かう」旨の返事があった。次長からは「ではX課長、幹部職員で課長が最初に到着できそうなので、当分の指揮を頼む！」と返信があった。

【AM9:00】A保健所にほぼ推測した時間で到着。保健所には自宅に近い職員が4人ほど到着していたが、玄関ドアが開かない様子でその場で4人は各自自分のグループやチーム職員への連絡を試みていた。私「皆さん無事でよかった！今からが大変ですが、出勤できた者で何とか頑張ってください！私より上司の職員が到着するまでは私がリーダーを務めさせていただきますね。まずは、手分けをして建物の被害がないか確認してから、建物に入りましょう。絶対に一人で入ったりしないで、目視確認が終わればここに戻ってきてください。」

事例 1（中級者向け）

○事例紹介

「県内で大地震が発生した中で災害対策活動がスムーズに行えた事例」

- ・主人公は某県の保健所に勤務する入職3年目の主査級医師で、〇〇課の課長を務めている。ある日電車で出勤途中に大地震が発生したため、途中から徒歩で保健所へ出勤した。
- ・所長や上司が誰も出勤できない中で、本人が臨時のリーダー役を担い、事前のマニュアルや訓練の内容に従って所内体制を整えて対策本部を立ち上げ、管内病院や避難所の情報収集や難病患者への緊急対応などを優先順位も考慮しつつ必要な対応をすることができた。

○解説

- ・ 「分析評価能力」「事業・組織管理能力」「パートナーシップ構築能力」が求められた事例
- ・ 大規模災害発生時にも、事前の研修や訓練で学んだマニュアルに従い冷静に対応を進めることができた事例

事例2（初級者向け）

○事例紹介

「所属内の業務分担について対立が起こった場合の対処事例」

- ・主人公は某県の保健所に勤務する入職3年目の主査級医師で、〇〇課の課長を務めている。
- ・所長からホームページの管理担当者を決めるように言われたが、他課の課長と相談の上で、〇〇課から出してほしいと言われたものの、〇〇課の職員も業務多忙で余裕はなく、やってみたい人もいない。
- ・再度他課の課長に交渉するも難渋し、結局所長の判断も踏まえて〇〇課が引き受けることになり、担当職員を説得することができた。

○解説

- ・どの課も所管しない業務は通常総務担当課が担当することになるが、全てを引き受けるわけにはいかない。
- ・課長は課内のことを理解しつつも、組織への貢献と職員の能力向上などの観点から、必要な業務は引き受ける判断をすることも必要。
- ・そのためには、医師である以前に課のリーダーとして粘り強く交渉や説得をする能力が求められる。

なぜ行政機関に医師が必要なのか？ 行政機関の医師に求められる能力とは？

- ・ 医学的知識（≡「通訳」的な役割）
- ・ 分析評価能力（≡データを読み解く能力）
- ・ 課題解決能力（≡診断に基づき治療をする能力）
- ・ コミュニケーション能力（≡患者と向き合う能力）
- ・ マネジメント能力（≡チーム医療のリーダーの能力）

+

- ・ 社会人・行政職員としての能力

↓

医療行為はあまり必要がないため医師である必要はないが、
多くの医師が持つ能力は行政の中で活かせる可能性が高い